

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 東海財務局長 |
| 【提出日】 | 平成29年2月1日 |
| 【会社名】 | 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 |
| 【英訳名】 | D.Western Therapeutics Institute, Inc. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 日高 有一 |
| 【本店の所在の場所】 | 名古屋市中区錦一丁目18番11号 |
| 【電話番号】 | 052-218-8785 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役総務管理部長 川上 哲也 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 名古屋市中区錦一丁目18番11号 |
| 【電話番号】 | 052-218-8785 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役総務管理部長 川上 哲也 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

1【提出理由】

当社は、平成29年1月31日の会社法第370条による決議において、株式会社ヘリオスのBBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業（以下、「本事業」）を譲り受けることを決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事業譲受け先の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 名称 | 株式会社ヘリオス |
| 住所 | 東京都港区浜松町二丁目4番1号 |
| 代表者の氏名 | 代表取締役社長 鍵本 忠尚 |
| 資本金の額 | 5,394百万円 |
| 事業の内容 | 眼科手術補助剤の開発・販売 再生医薬品・再生医療当製品の研究・開発・製造 |

(2) 当該事業の目的

当社は自社技術を基にした研究型の事業を展開しておりますが、収益力の強化に向けて「パイプラインの拡充」と「事業領域の拡大」を重点施策として掲げ、取り組んでおります。

自社創薬は当社の強みですが、薬の開発は長期間かつ多額の費用を要するため、収益の元となるパイプラインに厚みを持たせる必要があると考えておりました。特に眼科疾患については当社の注力領域として、開発品の導入を推進しております。

かかる状況下において、本事業は眼科手術補助剤として既に欧州で販売されており、今後は各国での開発の進展が見込まれることから、本事業の譲り受けは、当社の収益力の強化につながると判断いたしました。

今後は、ライセンスアウト先の開発支援並びに保有している領域のライセンスアウト活動に取り組み、早期の販売に向けて取り組んでまいります。

(3) 当該事業譲受の契約内容

| | | |
|----------|--------------------------|----------------|
| 譲受事業 | BBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業 | |
| 譲受資産及び負債 | 譲り受ける資産及び負債はありません。 | |
| 譲受価額 | 1,300百万円 | |
| 日程 | 取締役会決議日 | 平成29年1月31日 |
| | 譲渡契約締結日 | 平成29年1月31日 |
| | 事業譲受実行日 | 平成29年4月30日（予定） |

以 上